

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和4年9月(着任1年8ヶ月)
主な活動	1. 知覧茶Ambassador online school第二期無事終幕！ 2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

1. 知覧茶Ambassador online school第二期無事終幕！



写真: 知覧茶アンバサダーSNSでの募集POP

八月下旬より毎週土曜日の午前中にオンライン配信にて開催をしていた、『知覧茶 Ambassador online school』の第二期が、計四回のクラスを終え本年も無事終幕いたしました。今回も、短期間での告知ながら、募集定員を大幅に超えるご応募をいただき、市場での知覧茶(お茶)ブランディングが着々と進んでいることを実感しております。オンライン配信会場は、JA南さつま茶業センター工場 / 畑の郷 水土利館 / TANOKAMI STATION / pacboを利用させていただき、知覧茶と共に南九州市の施設を各回ごとにご紹介し、観光誘致としての取組も兼ねております。

地域おこし協力隊活動報告書



写真：第一回～第四回までの配信風景

茶業振興会という大きな組織の事業実施として、JAいぶすき / JA南さつま / 南薩振興局 / 茶業女性部 / 日本茶ソムリエ協会 / 知覧茶生産者等の方々と全国に知覧茶を届けており、非常に多くの反響をいただきました。

現在の市況において、昨年の実施時期より人の移動制限が緩和されている傾向にあり、今回のオンラインスクールをきっかけに、「南九州市にいきたいです」というお声や、中には実際に当市へ足を運ばれて南九州市の茶畑の風景、食などを楽しまれたアンバサダーもいらっしゃいました。

直近では、11/5,6に全国から紅茶生産者が集まり開かれる『地紅茶サミット』への参加で南九州市にお越しになられるアンバサダーの方々やSNSフォロワーの方々から、観光や茶工場見学、茶畑のおすすめをご紹介してほしいとのお問い合わせを多くいただいております。

対面での茶業振興活動に制限がかかっていた為、特にオンライン発信に注力したここ数年。次のステップは当市や知覧茶に興味を持っていただいた方々が、南九州市にお越しになられた際の、我々が受け入れる体制、組織作りができているかが非常に重要なポイントになっていると感じております。

2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談

10月に川辺町にある森の学校(旧永谷小学校)にて開催される、『GOOD NEIGHBORS JAMBOREE 2022』にて、知覧茶のPRブランディングが決まり、当月主催企業 / 広告代理店の方々と事前の打ち合わせ等の裏方作業をしております。

また、同時進行にて年末から来年春先に向けた知覧茶PR、広くは南九州市の観光や特産品などを絡めた企画、事業計画を進めております。



写真: 川辺町 森の学校にて開催のイベント限定オリジナルボトル

<https://goodneighborsjamboree.com/2022/workshop/forest-cafe/>

お茶の一大産地である南九州市ですが、身近に美味しい知覧茶がある事が当たり前になっている為、お茶の消費の対象は自ずと県外、あるいは国外の市場へのアプローチが必須となっております。これは、鹿児島県全体における茶産業の課題でもあります。

私も鹿児島県出身であるからこそ言えることですが、私達は『つくる』ことは上手であっても、『魅せる』ことは非常に苦手な県民性を持っていると感じます。

知覧茶においても、美味しいことはもちろんのこと、どうしたら既存の消費者層プラス新規の若い世代や海外の方々へ向け伝え、手に取ってもらい、消費まで繋げる事ができるかを自分ごととしてアクションできるかが必要であります。

3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

本年、全国茶品評会において当市の知覧茶生産者が全国TOP4を独占するという、非常に喜ばしい結果となったことを受け(普通煎茶10kgの部)、あえて堅苦しい発信ではなく身近に生産者と視聴者がオンラインコミュニケーションをとることができる企画として、『若き茶匠とはしご酒』というテーマでSNS配信を実施しました。

さらに嬉しいことに、南九州市が5年連続となる産地賞も授賞し、現在茶業界を中心に勢いに乗っています。

▼南九州市HP掲載内容はこちらから

<https://www.city.minamikyushu.lg.jp/kouhou/shisejoho/machi/202210-ocha.html>

会場は、いまや当市の中でも人気店となっている顛娃町の潮や、にて、本年の知覧茶生産での振り返り、苦労したこと、おすすめの品種、などなどを全国の視聴者からの質問を答えつつ、終始和やかな雰囲気で行っていました。



写真:若き茶匠とはしご酒POP / 当日打ち合わせ風景

<https://www.instagram.com/p/Cizn1Olxfc/>

いつもの配信では、比較的基础のお茶情報を交えた内容を組んでいましたが、今回はお茶の知識が深い方々、同業者、茶生産者などが楽しんでいただけるような専門的な会話が飛び交い、画面越しに「わかる、わかる」と頷きながらご視聴いただいた方もいらっしゃるような配信内容となりました。

ご参加いただいた方々は、例外なく秋冬番茶のシーズン中にてご多忙であったにも関わらず、快くこの企画にご賛同いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

決して「忙しい」、「面倒くさい」などという言葉を出さず、直向きに企画に向き合う姿勢を見て、トップになるべくしてなったのだと非常に感銘を受けたとともに、熱量のある方々の視点からみえる「平等」「公平」な組織体制、企画を今後は積極的に進めていきたいと強く思っております。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。